



2021年度 事業報告書

NPO法人まちづくりスポット恵み野

1.交流スペースの利用促進に係る事業

自主事業・貸館事業

事業費の金額 983,541円

■ 1 交流スペースの利用促進に係る事業

1-1 交流スペース 自主企画 “ぶくぶく”

**市民が気軽に立ち寄れる交流スペースの運営。
地域の情報発信やイベントを実施。**

●事業概要

気軽に立ち寄れる交流スペースを目指して、ちいさなえほんや“ひだまり”さん選定の、10才までに読みたい“こころが豊かになる110冊”をみなさんにお読みもらうというプロジェクト。

子育てを頑張るお母さんをメインに使っていただいている。「お母さんの子育てがラクになる→家庭が明るくなる→社会も明るくなる」そんな考えです。

また、市内各所に移動図書館スタイルで出向いたり、本コーナーに絵本を置かせていただいたり、本棚ごとの設置をすることで世代を問わずに「読む機会」の創出を行っています。

●その他情報

- ◆参加者数 登録数 30名 ※実際に本を手に取って読んでいる方は未カウント。
- ◆活動場所 学校法人リズム学園恵庭幼稚園様、Do!Kids Lab様、café福座様 他
- ◆開催日数 4回、常時
- ◆従事者数 1
- ◆関係団体 ちいさなえほんや“ひだまり”様



●評価と課題

定期的な活動により少しずつ定着し、イベントのリピーターも増えてきました。ユーザーも世代をまたいでいるので、「声の愛情を届ける」や「アート作品に触れる」といった文化の型を作るべく注力します。当初の目的であった「小児病棟への訪問」なども、コロナ禍の状況を勘案しながら進めていきたいです。

■ 1 交流スペースの利用促進に係る事業

1-2 交流スペース貸館事業

地域の市民活動活性化のため、施設内の交流スペースのレンタルを行っている。タニタの体組成計での計測などを実施。

●事業概要

タニタマルチ周波数体組成計での計測を¥100/1回で、広く市民にお貸ししています。恵み野里美町内会では、回覧板でのお声がけや町内会費からもチケット配布も行ってくださっています。

コロナ禍で外出がままならない分、体調管理も一助になれば願っています。



タニタ体組成計無料測定チケット

チケット1枚で1名様
有効期限1ヶ月

利用期限日: _____
券名前: _____

●評価と課題

フレスピ恵み野内テナント様にお配りした無料チケットからクチコミで、市内陸上自衛隊員様のご利用が増えました。さらなる周知や利用率を上げるべく、陸上自衛隊様を訪問予定。

2.まちづくりの推進に係る事業

みんなのガーデンプロジェクト2021・Smileハウス
恵庭若者応援プロジェクト・防災・御用聞き

事業費の金額 1,770,813円

■2 まちづくりの推進に係る事業

みんなのガーデンプロジェクト2021

フレスピ恵み野の正面に広がるめぐみの丘にストーリー性のあるガーデンづくりを市民と共におこない、花のまちづくりを推進する。

●事業概要

ボランティアグループムーミンさんと共にめぐみの丘は、キッチンガーデンとして花だけではなく、その他にトウモロコシを中心とした野菜の栽培をおこないました。リンゴの木の手入れにも力を入れ、収穫したリンゴは生活学習支援事業Smileハウスでも提供しました。

また、2022年6月から開催されるガーデンフェスタ北海道に向けた取り組みの一つとして、めぐみの丘で大きく育った宿根草を恵庭駅前通り植樹帯に株分けしました。

さらに、めぐみの丘に咲くアナベルを刈り取り、ボール型のブーケを作成しました。ブーケはフレスピ恵み野で開催されたミナミナ市に出店し販売しました。

●その他情報

◆実施日 通年（計15回）

◆参加者数 地域住民約300人

◆活動場所 当館、めぐみの丘、フレスピ恵み野、恵庭駅前通り

◆協力者 講師1名、ガーデンボランティア9名

◆従事者数 事務局スタッフ2名

◆関係団体 恵庭花のまちづくり推進会議、美しい恵み野花の街づくり推進協議会



●評価と課題

集客イベントの開催が難しい中で、宿根草の株分けや草柘植の挿し木など今までと違ったことにも挑戦しました。リンゴやトウモロコシなどめぐみの丘で収穫できたものをSmileハウスで提供するなど、事業の枠を超えた連携ができ、子供達への食育へつなげることができました。コミュニティーガーデンとしてまちの様々な人のつながりが生まれる活動を続けていきたい。

■2 まちづくりの推進に係る事業

2-2 Smileハウス

様々な困難や課題を抱えるこどもたちへ、地域とのつながりや基本的な生活習慣の習得、学習支援、食事の提供などを行う。

●事業概要

放課後の子どもの居場所づくり「Smileハウス」は、恵庭市からの委託事業で、恵み野小・恵み野旭小、恵み野中に通う小4～中1のお子さんを対象に毎週水曜日16:00～18:00まで、学習支援と食事の提供を行っています。

単に食事と学習支援だけでなく、たくさんの大人と関わったり、学校では学べないことを体験するなど、大人になったときに自立した力や自ら考え、行動する力が見に着くような活動を目指しています。

●その他情報

◆実施日時 毎週水曜日

◆活動場所 当館

◆受益対象の範囲及び人数 地域在住の小学校5年生から中学校2年生（計8名）

◆従事者数 1

◆協力者 学習ボランティア2名、食事ボランティア6名、学生ボランティア2名

◆関係団体 恵庭市子ども未来部子ども家庭課、恵庭市要保護児童ネットワーク協議会



●評価と課題

コロナ禍ではあったが、学校からの問い合わせも見受けられ、毎年重ねてきた強みが出てきているように感じた。本当に必要としているお子さんへのリーチや、傷つけないアプローチを工夫して行っていきたい。

■2 まちづくりの推進に係る事業

えにわ若者応援プロジェクト

コロナ禍の学生や若者の「暮らし」「学び」「コミュニティ」をサポートし、地域とのつながりを創造する

●事業概要

まちスป恵み野の呼びかけで、市内で活動する複数の団体と個人が協働して、コロナ禍の学生や若者の「暮らし」「学び」「コミュニティ」を応援することを目的に令和3年3月に『えにわ若者応援プロジェクト実行委員会』を設立。恵庭市まちづくりチャレンジ次号助成制度を利用し、恵庭市企画課と協働で月に一度のフードバンリーでの食品や日用品の配布を中心に、学生や若者の現状なども調査した。

●その他情報

◆実施日	令和3年6月～令和4年3月（計9回）
◆参加者数	地域の学生や若者約740人
◆活動場所	北海道文教大学、ハイテクノロジー専門学校、恵庭市図書館本館、黄金ふるさと公園
◆協力者	えにわ若者応援プロジェクト実行委員会、市民・学生ボランティア多数 物資提供してくださった市民多数
◆従事者数	事務局スタッフ2名
◆関係団体	NPO法人ワーカーズコープ、NPO法人おはな、連合北海道恵庭地区連合 えにわフードバンク、物資提供して下さった企業多数



●評価と課題

地域の大人たちの「コロナ禍でがんばる若者の為に何かしたい」という思いが旧スピードで形になり、たくさんの人々や企業からの支援を得て開催しました。地域の学生・若者が地域とつながることでまちの活性化にもつながりました。

フードバンクの運営やフードロスの解消といった部分は課題としてのこり、今後の活動を考えていきたい。

■2 まちづくりの推進に係る事業

防災

商業施設だからこそできる防災の啓発活動とつながりを大切に胆振東部地震の経験と教訓に思いを馳せる日

●事業概要

防災の啓発活動として、「めぐみの丘に燈籠を灯そう」の他に、過去に恵庭市内で起きた災害の情報やコロナ禍における防災活動「防災パネル展」として展示しました。また、札幌を中心に防災の啓発活動を実施している防災したっけさんのイベント「防災クエストうんちモンスターをつかまえろ」開催における後方支援を実施しました。

コロナ禍にありながら新しくつながりができたことで、新しい広がりがありました。

●その他情報

◆実施日 令和3年9月8日～16日、10月2日、2月12日

◆参加者数 市民や周辺地域住民多数

◆活動場所 フレスポ恵み野モール棟、めぐみの丘

◆協力者 利用会員の皆様、地域住民多数

◆従事者数 事務局スタッフ4名

◆関係団体 恵庭市基地防災課、障がい福祉課、防災したっけ、



●評価と課題

「めぐみの丘に燈籠を灯そう」と「防災パネル展」の同時開催を予定していましたが、まん延防止の発令により叶いませんでした。防災の啓発いうテーマの燈籠を市民の方たちと並べ、再生口ソクに火を灯すことで、胆振東部地震を振り返ることができました。さらにたくさんの人人がつながれるイベントに育てていきたいです。

3.ネットワークに係る事業

MAMA CAFE・シーニックバイウェイ・
ぼくの知らないものがたり

事業費の金額 1,642,895円

■2 ネットワークに係る事業

mama cafe

ママによるママのための居場所の提供と、子供服を通じて広がるママコミュニティ。

●事業概要

恵庭家庭教育ナビゲーターはぴナビネットワーク主催の学びカフェ「はぴナビカフェ」がコロナ禍でもオンライン開催が可能なように環境を整える等運営サポートを実施。

お下がり交換会実行委員会つなぐmeと共にお下がり交換会を年2回開催。事前予約制とし、人数制限をしながら開催した。

●その他情報

◆実施日	毎月1回、令和3年7月8日、11月10日
◆参加者数	市民や周辺地域住民多数
◆活動場所	フレスピ恵み野モール棟、まちスピ恵み野交流スペース
◆協力者	お下がり交換会実行委員会つなぐme、地域住民多数
◆従事者数	事務局スタッフ1名
◆関係団体	恵庭市教育委員会社会教育課



●評価と課題

お下がり交換会は市内のママ達からの需要が多く、事前予約制や人数制限などの工夫をしながら開催することができた。また、ツナガル・ウィークの一環として開催する等、他団体の協力を得ることもできた。

また、お下がり交換会で残った服を生活困窮家庭の方に支援することができ、地域課題解決の一歩を踏み出すことができた。

■3 ネットワークに係る事業

3-2 えにわシニックナイト2022

魅力ある地域づくり、景観づくり、魅力ある観光空間づくりを目指す取り組みとして、冬季に「キャンドルナイト」を実施。

●事業概要

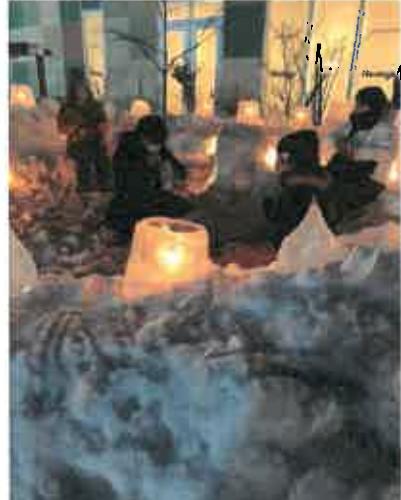
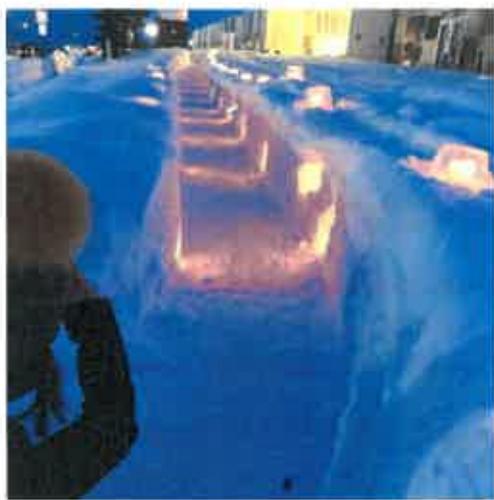
シニックナイトは冬の北海道をもっと楽しみ、参加する側も観る側も感動やよろこびを分かち合える活動として、シニックバイウェイ北海道支笏洞爺二セコルートが始めた活動です。

コロナ禍で、様々なイベントが中止になるなか、できる範囲で開催することで、少しでも地域の人によろこんでいただきたいと開催しました。

市民参加の制作は行いませんでしたが、大学生ボランティアや当法人理事たちの連携で、これまで最多のキャンドルを灯すことができました。

●その他情報

◆実施日時	2022/02
◆活動場所	めぐみの丘
◆受益対象の範囲及び人数	恵庭市及び各地域住民多数
◆従事者数	2 理事3
◆協力者	ボランティア15名



●評価と課題

- ・コロナ禍で、ボランティアの依頼や開催のジャッジに苦労しました。
- ・防災イベントを同日開催できたことで、相乗的な集客になりました。
- ・フレスピ恵み野テナント様への協賛の依頼など、早めに行っていきたいです。

■3 ネットワークに係る事業

3-3 ぼくの知らない“ものがたり”

大人と子どもが一緒になって共通の感動体験をし、対話できる場となること、本物の芸術表現に触れる機会を創出。

●事業概要

恵庭市は「本のまち」なので、それをより良く、より豊かにして地域を興す活動として企画しました。本のフルコース、お悩みの壁、読みガタリストの読みっぷり、時空ヲ旅スル音楽会など、多彩なコンテンツを用意、地域の学校や障がいのある方たちに呼びかけ、語らう場を創造しました。特に「時空ヲ旅スル音楽会」では、五感を総動員し、感じる芸術体験をしてもらうことにより、世代をまたいでより深い語らいが生じました。

●その他情報

◆実施日時	2022/03
◆活動場所	多目的スペースJUNCTION
◆受益対象の範囲及び人数	展示物：恵庭市及び各地域住民多数 時空ヲ旅スル音楽会：58名
◆従事者数	1
◆協力者	ボランティア3名、恵庭市読書推進課様、恵庭市立図書館スタッフ様



●評価と課題

- ・コロナ禍での集客、大々的なアナウンスが難しかったです。
- ・恵庭市での暮らしが、さらに楽しくなり仕掛けをつくっていきたいです。

4.人材育成及び研修に係る事業

市民ファシリテーション講座・しごとBAR・講座参加
事業費の金額 981,673円

■4 人材育成に係る事業

市民ファシリテーション講座

ファシリテーションを学び、活かすことで、自分達のまちの事は自分達で決める。対話によるまちづくりを促進する。

●事業概要

公益財団法人北海道地域活動振興協会のまちづくり推進活動支援事業助成金制度を活用し「市民ファシリテーション講座」を開催。NPOファシリテーションきたのわから講師を招いた本講座も3年目となり、昨年度までに講座を修了したサポートーにも支えられて開催することができました。

北海道市民ファシリテータープラットフォームにも参加し、全道フォーラムの分科会を担当させて頂きました。講座後、受講生の「まだ学びたい」という気持ちから、月に1度の自主勉強会がスタートしました。さらに、講座修了生を中心とした市民ファシリテーターグループ「ファシラさるチームアジト」を発足。市内団体からのワークショップ依頼なども来ており、活動を開始した。

●その他情報

◆実施日	令和3年9月～令和4年3月（計17回）
◆参加者数	市民や周辺地域住民多数（受講生13名）
◆活動場所	まちスポ恵み野交流スペース、オンライン
◆協力者	講座修了生サポートー、地域住民多数
◆従事者数	事務局スタッフ1名、理事1名
◆関係団体	NPOファシリテーションきたのわ、北海道市民ファシリテータープラットフォーム



●評価と課題

昨年度はオンライン中心となった講座を今年度は対面開催にこだわって実施。受講生の横つながりを重視して、サポートーによるキックオフ講座からスタートするなど、今までで一番こだわりが詰まった講座となった。講座開講時から目標としていた市民ファシリテーターの組織化を達成することができ、対話のまちづくりに向けて新たな一步を踏み出すことができた。

■4 人材育成及び研修に関わる事業

4-2 しごとBAR

コロナ禍という閉塞感の中で、未来を作ろうという「わくわく」や「こんな失敗もしたよ」という笑い話をお届けをしました。

●事業概要

さまざまな職業のひとが1日限定で形式上のマスター（もしくはママ）になり、参加者を迎えます。トークショーと異なり、飲み物を片手にリラックスして交流いただくことが目的です。

コロナ禍という世情の中で、しごと観も大きく変わりました。“やりたいことがあるけれど、迷っている”、そんな方にとて、「ひよい」と新しいことを始めるきっかけになることを目指していきます。

●その他情報

◆開催日数	8回
◆活動場所	多目的スペースJUNCTION、オンライン
◆参加者	恵庭市及び各地域住民/各回約10名 オンラインは多数
◆従事者数	1 ※理事1
◆協力者	各回のマスター・ママ、撮影スタッフ4名、多目的スペースJUNCTION様



●評価と課題

- 認知が上がってきています。毎回ご覧くださっている方もいらっしゃいます。
- 観た方が生きる力を養っていくような番組づくりにします。
- 事業費の調達が課題です。

5. 広報活動に係る事業

事業費の金額 693,375円

■5 広報活動に係る事業

5 広報活動に係る事業

日常的にイベントのお知らせなどを、SNSやコミュニティFMにて発信。

●事業概要

既存のSNS（FACEBOOK）に加えて、Twitterの運用を開始。眠らせていましたInstagramも復活させ、それぞれ分散するユーザー層へのリーチを計りました。

また、地域に密着した情報発信のため、コミュニティFM「e-niwa」の番組内に「スポっとヒトコト」というコーナーを持ち、イベント情報などの発信をしています。

各イベントについては、隨時チラシなどを作成、掲示を行った。

●その他情報

◆開催日数	12回、SNSは常時
◆活動場所	F me-niwa、
◆参加者	恵庭市及び各地域住民/各回約10名 オンラインは多数
◆従事者数	4
◆視聴者	恵庭市及び近隣地域住民



●評価と課題

「まちスポは何をやっているところなのか」という声もまだ聞こえてくるので、広報全般の手法について、再検討を行っていきたいです。

2021年度 来館者数及び会員数報告

令和4年5月11日

2021年度 まちスポ頸み野 来館者数

■月別来館者数

(人)

月	開館 日数	午前 (9-12)				午後 (12-16)				夕方 (16-18)				夜計				前年比
		男	女	子	計	男	女	子	計	男	女	子	計	男	女	子	計	
4月	25	17	36	4	57	26	32	17	75	4	8	7	19	47	78	26	153	-25
5月	24	10	23	2	35	16	25	7	48	3	4	4	11	29	52	18	94	-94
6月	26	11	32	4	47	13	35	9	57	2	2	16	26	35	69	29	130	-44
7月	27	18	29	5	55	23	52	5	80	12	14	24	50	53	95	37	185	-619
8月	22	21	16	9	46	24	31	10	65	6	7	14	27	51	54	33	138	-514
9月	26	24	30	2	56	29	46	16	91	5	11	17	33	58	87	35	180	-664
10月	27	101	121	3	225	146	274	22	442	113	113	39	273	335	510	64	940	-180
11月	26	62	647	67	676	89	342	95	520	11	6	12	26	156	894	174	1,224	1,068
12月	24	16	28	9	52	18	42	14	74	18	16	25	55	42	35	47	181	19
1月	22	13	14	4	31	36	48	14	95	11	8	16	35	60	67	34	161	-37
2月	20	9	14	4	27	14	44	14	71	71	56	11	148	94	124	29	247	-159
3月	26	31	40	3	74	35	61	14	110	18	15	18	52	85	116	35	236	96
計	298	333	932	113	1,383	463	1,023	337	1,729	284	270	203	757	1,020	2,231	558	3,869	-915

■1ヶ月あたりの平均来館者数

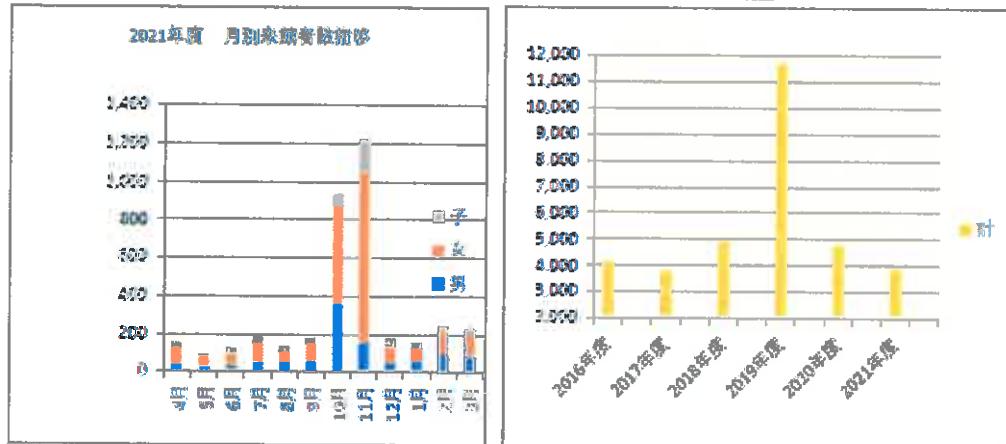
平均	28	78	10	115	39	86	20	124	24	26	17	63	90	126	47	322	-579
----	----	----	----	-----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	-----	----	-----	------

■1日あたりの平均来館者数

4月	0.7	1.6	0.2	2.4	1.0	1.8	0.7	3.0	0.2	0.3	0.3	0.8	1.9	3.0	1.1	5.1	-9.0
5月	0.4	1.0	0.1	1.5	0.7	1.0	0.3	2.0	0.1	0.2	0.2	0.6	1.2	2.2	0.8	3.9	-37.7
6月	0.4	1.3	0.2	1.9	0.5	1.4	0.4	2.3	0.3	0.1	0.6	1.6	1.8	2.8	1.2	5.2	-54.2
7月	0.7	1.1	0.3	2.0	0.9	1.9	0.2	3.0	0.4	0.5	0.6	1.9	2.0	3.5	1.4	6.9	-13.7
8月	1.0	0.7	0.4	2.1	1.1	1.4	0.5	3.0	0.3	0.3	0.6	1.2	2.6	2.5	1.5	6.6	-17.6
9月	0.9	1.2	0.1	2.2	1.1	1.8	0.6	3.5	0.2	0.4	0.7	1.3	2.2	3.3	1.3	6.9	-17.3
10月	3.7	4.5	0.1	8.3	5.4	10.1	0.9	16.4	4.4	4.3	4.4	10.1	19.6	18.9	2.4	34.8	-15.9
11月	2.5	21.9	2.7	27.0	3.3	13.7	1.8	20.8	0.4	0.2	0.5	1.1	9.2	35.8	7.0	49.0	-19.8
12月	0.7	1.2	0.3	2.2	0.8	1.8	0.6	3.1	0.6	0.6	1.0	1.3	2.0	3.5	2.0	7.8	-17.5
1月	0.6	0.9	0.2	1.4	1.6	2.0	0.5	4.3	0.8	0.4	0.7	1.6	2.7	3.0	1.5	7.8	-13.3
2月	0.5	0.7	0.2	1.4	0.7	2.2	0.7	3.6	0.6	0.6	0.7	1.4	4.7	6.2	1.5	12.4	-27.9
3月	1.2	1.5	0.1	2.8	1.3	2.3	0.5	4.2	0.7	0.6	0.7	2.0	9.3	4.5	1.9	9.1	-21.9
平均	1.1	3.2	0.4	4.7	1.6	3.5	0.8	5.9	1.0	0.9	0.7	2.6	6.7	7.6	1.9	13.2	-21.7

■年別来館者数推移

年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
計	4,133	5,791	4,988	11,526	4,784	3,869



■2021年度来館者数振り返り・課題

長引くコロナ禍で、昨年度以上に来館者が落ち込みました。オンラインイベントなどでも軽微の組み立てを行いましたが、伸び悩みました。苦戦するばかりではなく、さらなる工夫をしていきたいです。

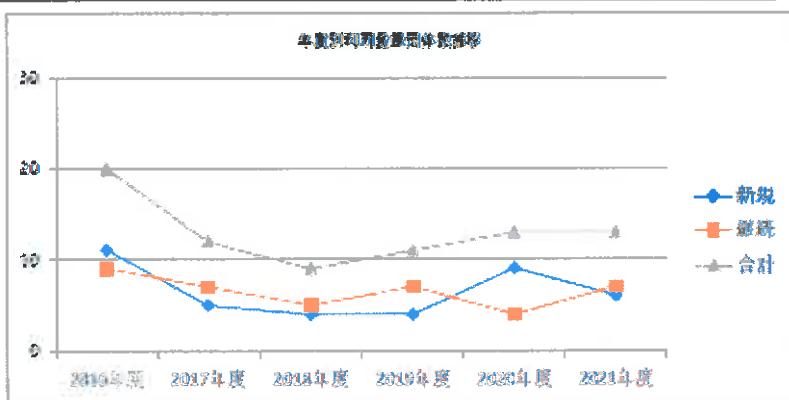
2021年度 まちスポーツみ野 利用登録団体 推移

■月別利用団体登録数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
新規	2	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	6	-3
継続	2	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	7	3

■年度別利用登録団体数推移

年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
新規	11	5	4	4	9	6
継続	9	7	5	7	4	7
合計	20	12	9	11	13	13



■分野別登録団体数

分野	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
保健・医療・福祉	0	1	2	1	2	1
社会教育	2	1	0	0	0	4
まちづくり	5	3	2	2	2	1
観光振興	0	0	0	0	0	0
地域活性（登山活動・中山間地）	0	0	0	0	0	0
文化・芸術・スポーツ	12	4	3	3	3	4
環境保全	0	0	0	0	0	0
災害救援	0	0	0	0	0	1
安全活動	0	0	0	0	0	0
人権擁護・平和推進	0	0	0	0	0	1
国際協力	0	0	0	0	0	0
男女共同参画	0	0	0	0	0	0
子育て支援	1	1	2	0	0	0
情報化社会	0	0	0	0	1	0
科学技術振興	0	0	0	0	0	0
経済活動活性化	0	0	0	0	0	1
雇用拡充支援	0	0	0	0	0	0
消費者保護	0	0	0	0	0	0
NPO助言・支援	0	0	0	0	0	0
合計	20	12	9	11	13	13

振り返りと課題

コロナ禍ながら、登録会員を前年度の横ばいにキープできました。アフターコロナにおける施策など、考えておきたいです。